

APIコールによるvManageスタックタスクのクリア

内容

[概要](#)

[背景説明](#)

[APIコールによるvManageスタックタスクのクリア](#)

概要

このドキュメントでは、APIコールのヘルプでスタックしたvManageタスクをクリアする方法について説明します。

背景説明

Stuck Taskはスケジュールされたタスクであり、vManageでアクションを実行したときに完了しなかったタスクです。vManageが16.3+以降の場合は、スタックしたタスクをクリアできます。たとえば、vEdgeへのソフトウェアイメージのプッシュ（ソフトウェアアップグレード）は、時間がかかり過ぎたり、テンプレートがデバイスへのプッシュに成功しなかった場合にも発生します。停滞タスクは、vManage Dashboardの[Tasks]ビューに表示されます。

必要なAPIコールを使用するには、netadmin特権レベルが必要です。通常、デフォルトユーザーadminはこのグループのメンバーであり、十分です。

APIコールによるvManageスタックタスクのクリア

現在スケジュールされている（おそらくスタックしている）タスクに関する情報を取得するために使用する必要があるAPIコールの例を次に示します。

```
https://<vmanage-ip:8443>/dataservice/device/action/status/tasks
```

出力を次に示します。

```
{
- runningTasks: [
  - {
    userSessionUserName: "Provider-admin",
    detailsURL: "/dataservice/device/action/status",
    tenantName: "Tenant1",
    processId: "software_install-10312017T203235376",
    name: "Software Install",
    tenantId: "1509385843674",
    userSessionIP: "24.133.151.157",
    action: "software_install",
    startTime: 1509481955379,
    endTime: 0,
    status: "in_progress"
  }
]
}
```

コマンドProcess_IDを実行すると、値は「実行タスク」キャプチャに示されます。このURLのURLの一部であるclean?processId=の後に値を入力します。https://<vmanage-ip:8443>/dataservice/device/action/status/tasks/clean?processId=<id_from_previous_call>。

結果は図のように表示されます。

```
{
  Success: true
}
```